



2023年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月9日

上場会社名 株式会社SYSホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3988 URL <https://www.syshd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)鈴木 裕紀
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員管理本部長 (氏名)後藤 大祐 (TEL)052-937-0209
 四半期報告書提出予定日 2023年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第3四半期の連結業績(2022年8月1日~2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第3四半期	7,645	37.1	362	8.7	382	9.6	219	0.1
2022年7月期第3四半期	5,577	21.1	334	14.2	349	16.0	219	4.7

(注) 包括利益 2023年7月期第3四半期 219百万円 (3.1%) 2022年7月期第3四半期 212百万円 (8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第3四半期	42.19	—
2022年7月期第3四半期	42.37	—

(注) 2022年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2022年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第3四半期	6,369	2,753	43.2
2022年7月期	4,298	2,551	59.4

(参考) 自己資本 2023年7月期第3四半期 2,753百万円 2022年7月期 2,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2023年7月期	—	0.00	—	—	—
2023年7月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年7月期の連結業績予想(2022年8月1日~2023年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,441	37.8	510	17.1	515	12.8	300	△1.8	57.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)新規 1社 (社名)株式会社 アイガ、除外 — 社 (社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年7月期3Q	5,229,928株	2022年7月期	5,197,266株
② 期末自己株式数	2023年7月期3Q	19,503株	2022年7月期	16,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年7月期3Q	5,196,690株	2022年7月期3Q	5,170,075株

(注) 2022年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数については、2022年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス流行に伴う行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進んだことにより国内経済に回復の動きが見られました。しかしながら、ウクライナをめぐる国際的緊張の高まりが長期化し、世界的な物価の上昇等に伴う経済成長の減速が懸念されており、日本経済の先行きは不透明な見通しとなっています。

当社グループが属する情報サービス産業においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2023年3月分 確報」の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比7.6%増と12か月連続の増加、「受注ソフトウェア」は、同9.5%増と12か月連続の増加となりました。

このような経済状況のなか当社グループは、新規受注の獲得や、顧客からの信頼を獲得し、リスクが低く安定した収益が期待できるリピートオーダーの提案・受注に努めました。

それらの結果、前連結会計年度及び当連結会計年度のM&Aによる新規連結子会社の増加や、社会情報インフラ・ソリューションの顧客からの受注が堅調に推移したこと、技術者の稼働人数が増加したこと等が売上高増加の要因となりました。

売上高の増加等により売上総利益は前年同期比35.1%増加したものの、第2四半期連結累計期間に成約したM&Aのコンサルティング報酬等のM&A関連費用が73,756千円計上されたこと等により、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益及び経常利益は売上総利益の増加に比べ小幅な増加となりました。M&A取得関連費用、のれん償却費等は、税効果がなく増加した費用がそのまま親会社株主に帰属する四半期純利益に反映されることから、親会社株主に帰属する四半期純利益が横ばいとなりました。

以上の要因により、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7,645,932千円(前年同期比37.1%増)、営業利益362,995千円(前年同期比8.7%増)、経常利益382,580千円(前年同期比9.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益219,269千円(前年同期比0.1%増)となりました。

当社グループは、総合情報サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりませんがソリューション別の概況は、次のとおりであります。

グローバル製造業ソリューションにおいては、車載ECU(電子制御ユニット)関連顧客や電機関連顧客等からの受注が堅調に推移したこと等により、売上高は2,818,622千円(前年同期比35.6%増)となりました。

社会情報インフラ・ソリューションにおいては、電力関連顧客等からの受注は堅調に推移したこと等により、売上高は4,584,874千円(前年同期比36.6%増)となりました。

モバイル・ソリューションにおいては、受託開発の受注の増加等により、売上高は242,435千円(前年同期比69.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,928,272千円となり、前連結会計年度末に比べ1,188,939千円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が701,394千円、受取手形、売掛金及び契約資産が337,982千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は1,441,355千円となり、前連結会計年度末に比べ882,063千円増加いたしました。

これは主に、のれんが584,067千円、投資その他の資産が289,204千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,204,126千円となり、前連結会計年度末に比べ752,684千円増加いたしました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金249,720千円、賞与引当金が185,400千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は1,411,796千円となり、前連結会計年度末に比べ1,115,949千円増加いたしました。

これは主に、長期借入金が943,251千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,753,704千円となり、前連結会計年度末に比べ202,369千円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いを行った一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が180,269千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年2月13日に公表しました2023年7月期通期の業績予想に変更はありません。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,735,886	3,437,281
受取手形、売掛金及び契約資産	837,180	1,175,162
電子記録債権	7,352	11,834
有価証券	—	100,597
仕掛品	26,479	34,347
その他	133,309	169,953
貸倒引当金	△876	△904
流動資産合計	3,739,332	4,928,272
固定資産		
有形固定資産	67,481	83,594
無形固定資産		
のれん	144,429	728,496
その他	108,306	100,986
無形固定資産合計	252,736	829,482
投資その他の資産		
投資その他の資産	240,294	529,498
貸倒引当金	△1,220	△1,220
投資その他の資産合計	239,073	528,278
固定資産合計	559,291	1,441,355
資産合計	4,298,624	6,369,627

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,839	198,701
賞与引当金	48,883	234,284
受注損失引当金	14,992	956
未払金	467,554	590,388
未払法人税等	89,844	142,611
短期借入金	300,000	300,000
1年内償還予定の社債	10,000	37,500
1年内返済予定の長期借入金	61,200	310,920
その他	315,128	388,765
流動負債合計	1,451,442	2,204,126
固定負債		
社債	—	12,500
長期借入金	120,000	1,063,251
役員退職慰労引当金	1,383	1,818
退職給付に係る負債	—	103,477
その他	174,464	230,749
固定負債合計	295,847	1,411,796
負債合計	1,747,289	3,615,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	376,864	388,035
資本剰余金	329,782	340,952
利益剰余金	1,860,525	2,040,795
自己株式	△10,854	△10,870
株主資本合計	2,556,318	2,758,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,663	△626
為替換算調整勘定	△7,646	△4,581
その他の包括利益累計額合計	△4,983	△5,207
純資産合計	2,551,334	2,753,704
負債純資産合計	4,298,624	6,369,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年8月1日 至2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年8月1日 至2023年4月30日)
売上高	5,577,504	7,645,932
売上原価	4,332,346	5,963,744
売上総利益	1,245,157	1,682,188
販売費及び一般管理費	911,118	1,319,192
営業利益	334,039	362,995
営業外収益		
受取利息及び配当金	850	222
助成金収入	12,972	13,574
その他	5,432	12,035
営業外収益合計	19,255	25,833
営業外費用		
支払利息	1,558	5,929
為替差損	2,602	—
その他	26	318
営業外費用合計	4,186	6,248
経常利益	349,107	382,580
特別利益		
投資有価証券売却益	—	756
特別利益合計	—	756
特別損失		
固定資産売却損	1,000	—
特別損失合計	1,000	—
税金等調整前四半期純利益	348,107	383,336
法人税、住民税及び事業税	185,573	227,542
法人税等調整額	△56,503	△63,475
法人税等合計	129,069	164,067
四半期純利益	219,037	219,269
親会社株主に帰属する四半期純利益	219,037	219,269

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	219,037	219,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,269	△3,289
為替換算調整勘定	△5,326	3,064
その他の包括利益合計	△6,595	△224
四半期包括利益	212,442	219,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,442	219,045

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは総合情報サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。